

# くべっ川



2015(平成27)年2月1日 第227号 標津町教育委員会 ☎0153-82-2900

## 子ども・子育て支援新制度4月からスタート!!



すべての子ども達が笑顔で成長していくために。  
すべての家庭が安心して子育てで育てる喜びを感じられるために。  
「子ども・子育て支援新制度」がスタートします。

### 標津町の子育てが更に充実します

#### 幼稚園

**ポイント 1** 使用料→26年度からの利用料5,500円  
無料化を継続していきます。

#### 親子交流館「おひさま」

**ポイント 6** 地域全体で子育てできる環境作りのため、親子交流館「おひさま」の活用を充実させていきます。

- 遊びのひろば→毎週月・金 10時～12時
- あかちゃんひろば→毎週火・木 10時～12時
- にこにこ教室→毎週水曜日 10時～12時
- 地域交流→毎週月～金 13時～16時
- ファミリーの日→毎月1回  
最終日曜日(変更あり)
- おひさまだより→二ヶ月に一回発行
- 子育てハガキ→誕生日の月に発送
- その他→子育て相談など、気軽にご利用下さい。妊娠中の方のご利用もお待ちしています。

平成  
29年度  
開設

#### 「認定こども園 (標津こども園)」では

0歳から2歳までの仕事をしている家庭のお子さんの受け入れ、3歳から5歳までの就労・非就労家庭対象の幼稚園教育(午後からの預かりの実施)による保育・教育の実施を目指して準備しております。

#### 保育園

**ポイント 2** 入園基準→利用できる基準が増えました。

- ①家庭内・外労働 ★⑦就学、職業訓練
- ②母親の出産等 ★⑧虐待、DV
- ③疾病・負傷・障害 ★⑨育児中の
- ④病人の看護等 継続利用
- ⑤災害等の復旧 ⑩前項に類すると
- ★⑥求職活動 町長が認めた場合

#### ★保育園保育料(※3歳以上4階層の場合)

階層	国	管内A町	標津町
第4階層 町民税額 97,000円未満	30,000円	30,000円	15,000円

**ポイント 3** 仕事をしていない家庭の3歳児のお子さんも、保育園へ入園できるようになります。  
※この際の保育時間は、基本的に8時30分から16時までとなります。

**ポイント 4** 保育料→国の算定基準が変わりますが、これまでどおり、国の基準の約半額と定めています。

**ポイント 5** 1歳～5歳までのお子さんを1時間200円で一時預かりを行っています。

「子ども・子育て新制度」についての詳しい内容については、  
教育委員会・各園に国から発行されているパンフレットがあります。ご希望の方は、教育委員会又は、各園にお申し出ください。

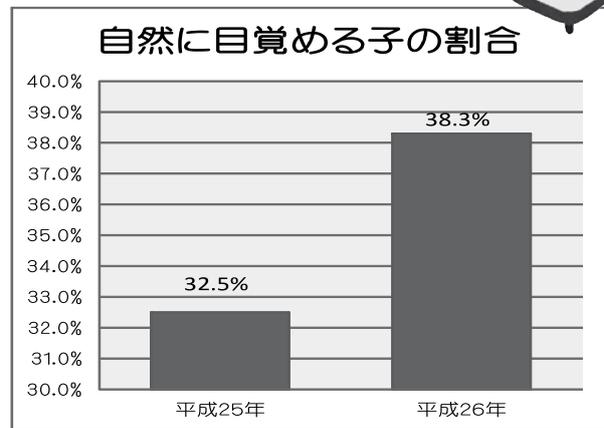
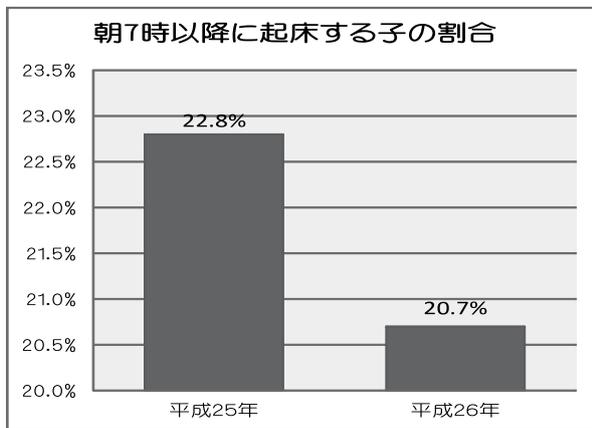
# 平成26年度標津町生徒指導連絡協議会実施の生活アンケート結果について

当協議会では、平成20年度から園児・児童・生徒を対象にした生活アンケートを実施しています。今年度も各園・各校に御協力をいただき、10月に実施しました。その結果から見てきた『標津っ子』の生活の実態についてお知らせ致します。



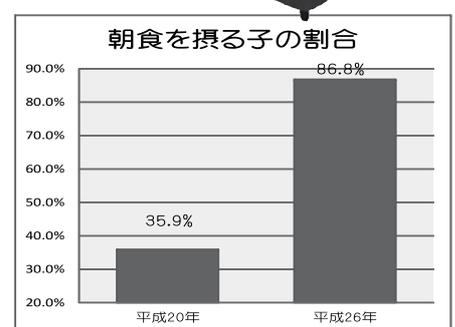
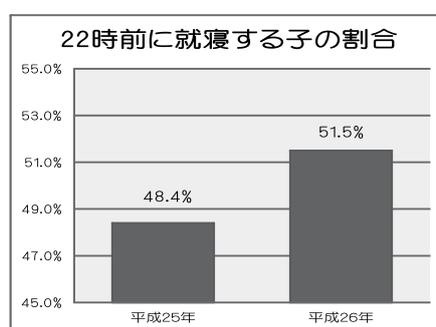
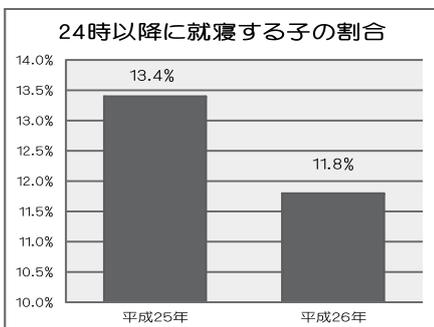
## ①早起きができる標津っ子

昨年度との比較から、7時以降に起床する子の割合が減少し、自然に目覚める子の割合が増加しており、望ましい傾向にあります。



## ②早寝ができる標津っ子

昨年度より22時以前に就寝する子の割合が増加し、24時以降に就寝する子の割合が減少しています。また、生活の規則性も改善の傾向にあります。



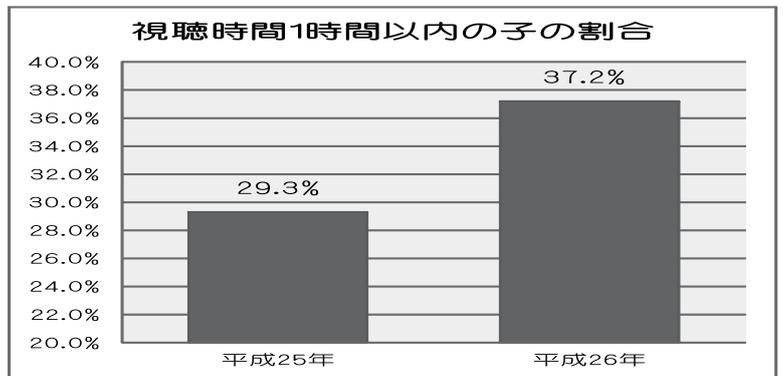
## ③朝食をきちんと摂る標津っ子

ここ数年の傾向で、毎朝きちんと朝食を摂る子の割合は、85%前後です。調査を始めた平成20年の朝食をとる子の割合が35.9%だったことから、大きく改善されています。ここから、子どもの意識や保護者の意識が変わってきたことが読み取れます。



#### ④テレビ・DVDの視聴時間が大幅に減少した標津っ子

今年度は、テレビ・DVDの長時間の視聴の割合が減少し、視聴時間1時間以内の子どもの割合が大幅に増加しました。このことから、テレビ・DVDに長時間頼らない生活をする事ができる標津っ子の姿が読み取れます。



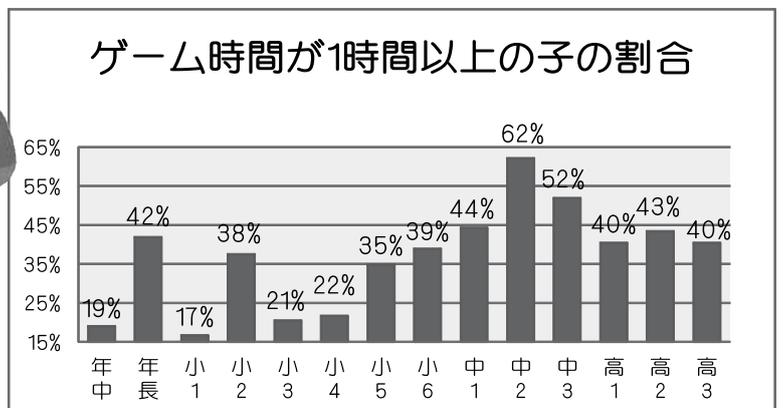
以上のように標津っ子の生活習慣は、大きく改善しよい方向に向かっていると思われます。これは、子どもたちの生活習慣に対する意識が向上したことに加え、家庭・地域の意識の高まりが1つの要因となっていると考えられます。

しかし、上記の結果からは改善が見られますが、以下の2点については更なる工夫・改善が必要であると感じています。



#### ⑤ゲームの時間が長い標津っ子

「ゲームをする時間を教えてください。」という問いについては、学年ごとにばらつきがあります。特にゲームをする時間が1時間以上の割合が高かったのが、幼稚園年長と小学2年生、小学5年生以上の学年です。



ちょっとした息抜きや気持ちのリフレッシュという意味では、ゲームをすることが一概に悪いとは言えません。しかし、1日のゲームにかける時間が1時間以上となるとどうでしょうか？各家庭でゲームをやり過ぎない、時間を有効に使うためのルールを決めるなど、ルールを守って生活できることが望ましい生活習慣につながっていくように思われます。

#### ⑥家庭学習の時間が短い標津っ子

ゲームをする時間が長い傾向にある標津っ子は、その分家庭での学習時間が短いという傾向が見られます。

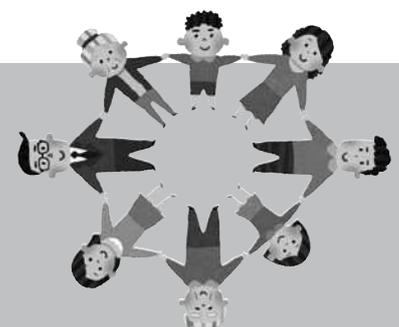
家庭での学習時間については、昨年度に比べ改善の傾向が見られますが、小学生で1時間以上学習する子の割合が約15%、中学生は23%、高校生は13%とかなり家庭での学習時間が短いという結果になりました。

子どもが学校で学習した内容を確実に身に付けるには、毎日の家庭学習が大切になります。家庭でも子どもが集中し学習に取り組む環境づくりの御協力をお願いします。



以上が、今年度の生活アンケートから見えてきた標津っ子の姿です。

今回の調査内容は、ほとんどが家庭での生活の様子となっています。標津っ子の生活習慣をよい方向へ改善していくためには、学校での指導だけではなく、これまで以上に学校と保護者・地域が一体となった取組が重要だと思われます。





# 遊びや運動・スポーツの大切さ

近年、子どもの体力の低下が問題となっており、特に北海道の子どもの学力と体力は残念なことに低水準にあります。子ども達の心の危機（工夫できない、社会性や意欲の欠如、情緒の欠如、ストレスの増加等）や体の危機（動作の未発達、運動量の減少、生活習慣病の増大等）ともいわれています。

また、社会環境として遊びの必要条件（仲間・空間・時間）の減少や親子の絆の希薄化、食や睡眠時間を中心とした基本的生活習慣の乱れについても指摘されています。

運動習慣の形成は脳の働きや学力とも密接な関係にあります。そのため、「体力・運動能力の低下や身のこなしの問題は小学生からでは遅い」を基本的な捉えとして、本町では昨年度より山梨大学の協力を得て、遊ぶ・動く楽しさを体験する幼児期運動プログラムの展開に取り組んでいます。

今回は、昨年7月に行った町内の幼稚園・保育園に通園する3歳児～5歳児を持つ保護者アンケートの結果についてお知らせします。

## ① 幼児が降園後や休日によくしている遊びの種類

- 第1位 自転車遊び (11.2%)
- 第2位 お絵かき (9.1%)
- 第3位 かけっこ、ままごと、公園 (各7.1%)

## ② 遊びの相手

- 第1位 家族と (59.4%)
- 第2位 ひとりで (23.9%)
- 第3位 友達と (12.8%)



## ③ 遊びの人数

- 第1位 2～3人 (59.8%)
- 第2位 1人が多い (29.9%)
- 第3位 3～4人 (9.8%)



## ④ 遊びの場所

- 第1位 室内 (49.5%)
- 第2位 自然的な場所 (26.8%)
- 第3位 人工的な場所 (公園等) (20.5%)



## ⑤ 室内遊びと戸外遊びの比較

- 第1位 室内での遊びの方が少し多い (32.4%)
- 第2位 どちらも同じくらい (23.9%)
- 第3位 戸外での遊びの方が少し多い (19.7%)

## ⑥ 晴天の日における幼児の外遊び時間

- 第1位 1～2時間くらい (38.9%)
- 第2位 30分～1時間くらい (33.3%)
- 第3位 2～3時間くらい (13.9%)

## ⑦ 遊びや運動・スポーツに期待している効果

- 第1位 身体を動かす楽しさ (87.1%)
- 第2位 健康な体 (78.9%)
- 第3位 協調性 (72.9%)

## ⑧ 身体を動かす遊びや運動・スポーツに対する考え方

- 第1位 体を動かす時間は特に重要 (47.9%)
- 第1位 体を動かすことは不可欠 (47.9%)
- 第3位 大人の努力が必要 (32.4%)

### 上記の結果から読み取れることは、

- ①室内遊びが多い
- ②友達と遊ぶことが少ないため  
集団遊びができていない
- ③晴天の日でも外遊び時間が少ない  
(2～3時間は必要)
- ④遊びや運動・スポーツの効果は  
理解している

幼児期の遊びや運動・スポーツは、体に刺激を与え脳の活力を向上させ、意欲や気力・集中力を高めることに繋がります。できたという「有能感」や頑張るといふ「忍耐力」、仲間と遊ぶことで思いやりの感性（社会性）や失敗経験（創造性）も育みます。様々な遊びを1日合計60分以上行うことが必要といわれています。心身の発達を促し、豊かな人生の基盤をつくり、生涯を支える力になるのが幼児期の遊びや運動です。

